

## かのや100チャレ評価基準表（一次審査・本選共通）

項目	点数	評価対象		評価ポイント	
		テーマ1	テーマ2	テーマ1	テーマ2
1 地域特性	10	解決策	商品内容	○鹿屋市ならではの提案となっているか。 ○地域の持つ強みや本質的な価値を整理・定義し、提案に生かしているか。	○鹿屋市ならではの提案となっているか。 ○地域の素材を活用し、地域の特徴（歴史・風土・食文化・技術等）が伝わる商品であるか。
2 提案内容の具体性	10	解決策 実施主体 予算	商品の作り 方	○取組を短期(1~2年)、中期(5年位)、長期(10年位)で考えているか。 ○課題解決までの過程（やるべきこと）、手段が明確に示されているか。 ○利害関係者の存在や調整が考慮されているか。 ○実現・継続のための費用・財源が考慮されているか。	○素材の特徴の活かし方や、製造方法が優れているか。
3 実現可能性 ・提案の妥当性	10	提案根拠	商品規格 価格	○提案内容の実現可能性を説明できているか。（実現できるか） ○課題の目的に沿った提案であるか。提案の根拠が説明されているか。	○新規性・話題性・ストーリー性に富んでいるか。 ○量目・サイズ・価格などが適正であるか。 ○適量が製造可能で、流通しやすい商品であるか。
4 独創性・発想の面白さ	10	解決策	商品イメージ ネーミング パッケージ	○新規性のある地域資源を発掘・活用した独創的な提案であるか。 ○発想の転換など、テーマを多様な視点から捉えた提案ができているか。	○デザインやネーミング等が独創的であるか。 ○素材加工や食べやすさの工夫がなされた商品であるか。
5 発展性	10	広報展開	販売戦略	○一過性でなく、継続的で発展性のある提案になっているか。 ○やりっぱなしではなく、効果検証のサイクルを回すなど視野に入れているか。	○商品の流通性、発展性があるか。 ○商品開発による地域社会への波及効果及び貢献度が期待できるか。
6 当事者目線・使命感	10	全体		○他人事のように提案をするのではなく、「自分だったらこうする」という当事者の立場に立った提案や提案の中に自分たちの役割を位置づけているなど、当事者意識をもって取り組んでいるか。 ○提案から使命感が感じ取れたか。	
7 情報収集力・分析力 ・データ活用	10	全体		○鹿屋市の現状・背景や特徴、テーマに関する社会情勢やトレンドなどを十分に情報収集し、分析・深掘りしているか。 ○客観的なデータや類似事例を用い、論理的で説得力のある提案になっているか。	
8 資料作成能力 ・プレゼンテーション力 ・答弁力	10	プレゼン資料 発表・質疑応答		○プレゼン資料は誤字脱字なく、図表の効果的な活用、出典が明記されるなど、分かりやすく、かつ見やすく作成されているか。 ○発表は、明瞭快活で相手に伝わりやすいように発表できているか。見る者を飽きさせないような工夫があるか。（発表に引き込まれたか） ○審査員や参加者からの質問に対する回答は、明瞭かつ論理的であるか。	
9 ルールの順守	5	（事務局採点）		○決められたルールに基づいた発表であるか。 ○発表時間、提出期限、差替有無等ルール順守できていない場合、1回につき1点減点する。	
10 達成度	5	（事務局採点）		○説明会・交流イベント参加率（チーム内全参加回数／全回×チーム人数） ※説明会・交流イベントを参加・視聴後、アンケートに回答すると、1回参加とみなす。（エントリー者全員の回答が必要）	
合計	90				

※ 10：とても優れている、8：優れている、6：普通、4：劣っている、2：とても劣っている